

研究員の視点

順位だけでは分からない奈良県の製造業

■出荷額からみる奈良県の製造業

プロ野球選手がホームランを40本打てば、その年のホームラン王に近づき、高く評価される。しかし、安打40本なら首位打者どころかベンチ入りすら危うい。同じ40本でも、ホームランなら高い評価なのに、安打では低い評価となる。標本が変われば評価も変わってしまうからだ。

これは何もプロ野球の成績だけの話ではない、経済社会も同じである。経済産業省の工業統計調査「我が国の工業」によると、製造品出荷額等（以下、出荷額）からみて全国1位となる奈良県の主な品目（平成20年、全事業所）は、下表で網掛けしている通り、その他の光電変換素子、ソックス、ちゅう房機器の部分品・取付具・附属品、タイツ、はし（木・竹製）など計18品目ある。

各々の出荷額（平成20年、従業員4人以上の事業所）をみると、同じ全国1位の品目でも生産規模が違うため、最も金額が多い「その他の光電

変換素子」3,747億円45百万円と最も少ない「プラスチック製スリッパ」2億6百万円では約3,745億円（1,819倍）もの差がある。

■全国シェアをみると、他にも健闘している品目が多数存在

さらに、全国1位の品目の全国シェアをみると、最も高い「その他の光電変換素子」67.0%と最も低い「はし（木・竹製）」6.5%では60.5ポイントの差が生じている。

次に、下表より、出荷額からみた全国シェアが高い奈良県の製造業（品目別）をみると、「その他の光電変換素子」が最も高く、「織物製成人女子・少女服（賃加工）」、「合成繊維糸・その他の糸染整理（賃加工）」が続く。出荷額は全国1位である「銘板、銘木、床柱」は31位、「はし（木・竹製）」は42位に留まり、製造業全体のボリューム面からみても県内産業への寄与度はそれ程高くない。

全国1位の出荷額を誇っても、生産規模そのもの

が縮小し、業界全体が非常に厳しい状況に置かれている品目がある一方、全国1位の出荷額ではないが、全国シェアは高い品目が奈良県にもある。

物を比較する場合、順位を見るのも大切だが、全体の規模がどれくらいあるのか、全体の中でどれくらいのシェアを占めているのか、どういう位置付けにあるのかを見極めることも重要である。

（岡本 忠）

表：出荷額からみた全国シェアの降順に並べた奈良県の製造業【品目別】

県内順位	品目	出荷額 (百万円)	全国
			シェア
1	その他の光電変換素子	374,745	67.0%
2	織物製成人女子・少女服（賃加工）	499	51.1%
3	合成繊維糸・その他の糸染整理（賃加工）	1,368	49.5%
4	ソックス	21,749	44.0%
5	ちゅう房機器の部分品・取付具・附属品	24,369	38.3%
6	その他の靴下	3,408	37.8%
7	アルミニウム・同合金粉	12,225	34.0%
8	タイツ	2,446	32.6%
9	プラスチック製スリッパ	206	29.6%
10	その他のなめし革	768	24.2%
11	刺しゅう製品（賃加工）	1,513	24.1%
12	衛生衣服附属品	631	19.2%
13	運動用革靴	1,304	19.1%
14	作業用革手袋（合成皮革製を含む）	708	18.5%
15	その他の外衣・シャツ（賃加工）	424	17.3%
31	銘板、銘木、床柱	845	9.0%
42	はし（木・竹製）	222	6.5%

（注1）網掛けは「出荷額からみた全国1位の品目」（経済産業省の工業統計調査「我が国の工業」平成20年、全事業所）。

上表の数値は、公表されている「従業員4人以上の事業所」数値を利用しているため、「全事業所」数値とは異なる。

（注2）上記以外の「出荷額からみた全国1位の品目」は、平ゴムベルト、デジタル式複写機、フルカラー複写機、その他のゴムベルト、金銭登録機（レジスタ）、卓上用ガラス器具、太陽電池モジュール、電気炉、その他の暖房・調理装置部分品。

資料：経済産業省「工業統計調査」